



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



第71号 目次

横浜医療センターCOVID-19対策情報・・・1

旧東海道の難所「大坂」の話・・・3

行事紹介・・・3
第56回卒業式を挙行了しました。

特集 - 医師が語る疾患 -・・・4
第27回 三叉神経痛について

連載・・・5
第25回 職員リレー紹介
医療ソーシャルワーカー

病診連携施設紹介・・・6
なかつじ医院

外来担当医表／編集後記・・・7

発行 月：令和3年4月
発行 行：独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター 広報委員会
発行責任者：鈴木 宏昌
住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
電 話：045-851-2621
FAX : 045-851-3902
URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

横浜医療センター-COVID-19対策情報

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染者増加による緊急事態宣言発出から1年が経過しました。当初は誹謗、中傷等の心配があり地域の皆さんへ情報提供をすることすら躊躇するような状況でした。ウイルスの性質や病態が分かるにつれ、世の中の捉え方、感染予防に対する考え方にも変化があったと感じています。

今回は、現在までの当院の感染対策や取り組みをお知らせします。

<院内の移動に安心を>

感染者や感染の疑いのある方の移動手段として、陰圧ストレッチャーや陰圧車いすを使用。私たちに地域医療を守る使命があります。当初から一般患者さんや医療者への感染リスクを減らしながら、COVID-19と急性期治療の両立を目指しました。



陰圧ストレッチャー使用講習



患者搬送使用時

<入館時にも安心を>

これまでよりも大型の検温モニターを導入。スムーズに入館できるようになりました。手指消毒用アルコールも、非接触型を設置。より安心して入館いただけます。



<当院従事者へのワクチン接種始まる>

職員向けワクチンの接種開始に向けて、模擬訓練を実施。

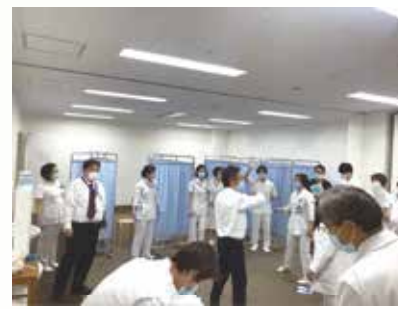
実際の接種を想定して1時間程度実施し、問題点を洗い出し実践に繋げます。



ソーシャルディスタンスで



予診票をチェック



振り返りの様子

3月下旬より、1回目の接種開始。接種人数が多いので数日に分けて実施しました。

模擬訓練での問題点を改善し、準備万端で実施。順調に接種が終了しました。



接種待ちも密を避けて



鈴木病院長も接種



初日終了後の振り返り

<入院時の感染対策>

新たに、集中治療室（ICU）に2床のクリーンブースを設置し、感染患者の病床を確保しています。陰圧装置（ヘパフィルター）付きブースで感染対策を講じています。



COVID-19については、日々状況が変わっていきます。まずは「三密を避ける」「手指消毒の徹底」等の基本的な感染対策をしっかり行うことが重要です。

昭和39年に編綴された当院創立15周年記念誌が手元に残されている。

終戦直後の昭和21年6月に第二代院長として着任された野坂三枝先生が「私の追憶」と題した文章の中に、着任当時の戸塚駅から当院までの通勤の情景が描かれている。

・・・通勤職員は神奈川中央交通のバスを利用したが、これが、発着時間が不定であった。漸く煙を吐いてやって来た木炭バスに乗って、やれやれと安心していると、大坂峠の坂道で停車したまま動かないことなどもあって、私達はバスを頼みにしないで、よく徒歩で通勤したものである。【記念誌より引用】

大坂の途中、当時、バスが止まってしまったのではないかと勝手に想像する戸塚警察署辺りから当院までは2キロ強、戸塚駅からだと倍の4キロ以上の距離があるが、大坂という東海道の難所と木炭バスの力不足により当時の職員はこの距離を徒歩通勤せざるを得なかったとは、時代とは言え、なんとも気の毒な限りである。

昭和の時代に複数回行われたとされる緩斜面化と、時代と共に進化したバスによって満員の乗客を乗せてもさすがに今は坂の途中で止まることはないが、それでもエンジンの回転数が若干高まっているであろうことは感じられる。

昭和の時代をさらに遡ると「佐野の馬、戸塚の坂で二度ころび」という江戸川柳に行き当たる。

現在の群馬県高崎市辺りに住んでいた佐野源左衛門は、貧乏であったがため馬に十分な栄養を与えることができずにいたが、「いざ鎌倉」という際には痩せ馬に鞭打っていち早く鎌倉に駆け付け、命がけで戦うと決意しそれを果たしたという話が、能の「鉢木」という曲にある。

この佐野さんの馬が栄養失調とはいえ、戸塚の一番坂、二番坂という二つの急坂で転んでしまうほど難儀したということをやめたものであろう。

もっとも「いざ鎌倉」の頃にはまだ東海道は整備されておらず、後に東海道が整備された際に鉢木の話と戸塚の急坂を結びつけ、江戸川柳らしく大げさにしたものと考えられる。

旧東海道、戸塚宿から藤沢宿の中間に位置する当院の近辺には東海道に纏わるエピソードが豊富なようである。機会があれば本紙にて紹介していきたい。



行事紹介

第56回卒業式を挙行了しました。

令和3年3月4日（木）73名が無事に卒業しました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出の中、臨地実習や第110回看護師国家試験を乗り越えた卒業生の姿は自信と希望に満ちていました。4月からはそれぞれの就職先や進学先での活躍を期待しています。



第27回 三叉神経痛について

脳神経外科 宮原 宏輔

三叉神経痛とは、片側の顔面や歯茎に発作的に激しい痛みが生じる疾患で、主に60歳代以降の女性に好発するといわれています。痛みは、会話や食事、洗顔、歯磨きなどで誘発されることが多く、症状が強いと食事や会話ができなくなり生活に著しい支障をきたすこともあります。

原因のほとんどが頭蓋内動脈と三叉神経が接触し起こるもので、MRI検査で多くは同定可能です。歯痛と紛らわしいこともあります。専門医が診察すれば問診や経過で鑑別可能です。治療はテグレトール、リリカ、漢方薬などの内服治療や、ペインクリニックでのブロック注射から開始することが多いですが、手術によって80～90%は完治するといわれています。病側の耳の後ろを切開し、三叉神経に接触している血管を剥離する方法で、2時間ほどの全身麻酔手術です

(図1：三叉神経に接触した動脈、図2：神経と動脈を剥離し移動)。ほとんどの方は術翌日から治療薬を中止しても痛みは完全消失し、術後8～10日で退院できます。

薬物療法、神経ブロック療法、手術、放射線治療、どの治療を行うかは患者さんの希望に沿って決定しますが、テグレトール、リリカはふらつきや搔痒感、電解質異常、房室ブロックなどの副作用が出現することもあります。高齢だからと手術を勧められず、テグレトール増量でも効果がなく、三叉神経痛とふらつきで長年苦しんでいた方も、手術翌日から痛みが全くなくなる場合も多く経験しています。脳神経外科受診＝すぐに手術ではなく、症状と経過をよく聞いて適切な治療を考えるようにしています。本疾患が疑われた際には、是非当科を受診していただければと思います。

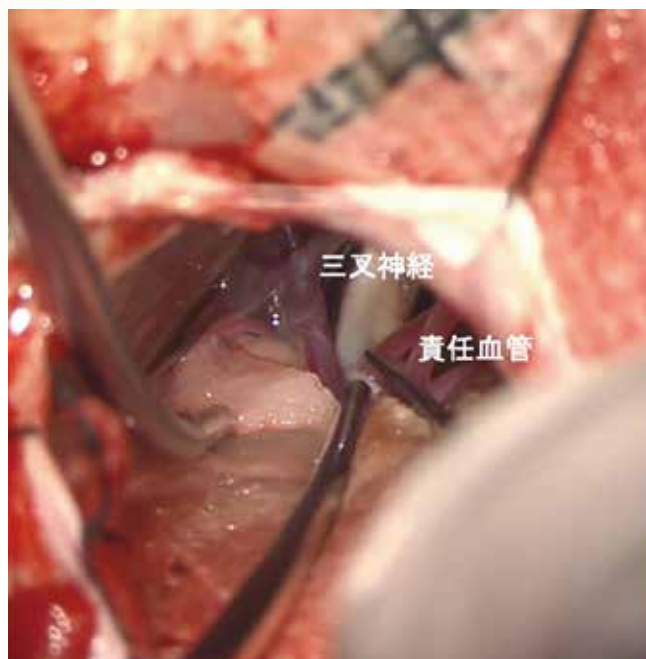


図1

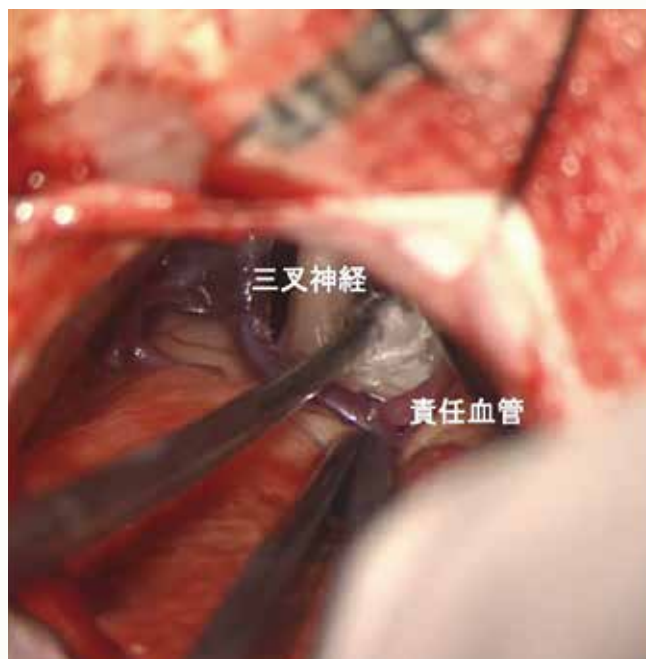


図2

第25回 医療ソーシャルワーカー

相談支援センター 医療社会事業専門職 高瀬 昌浩

●相談支援センターとは

当院では、患者さんやご家族が適切でより良い療養や社会生活が営めるよう、各職種が連携を取り、迅速な支援をしています。一人で悩まずに、まずは「相談支援センター」にご相談ください。

また、患者さんにとって適切なベッドコントロールと、高度急性期病院として効果的な病床管理を目指し、患者さんが安心して入院、治療、退院、地域で療養ができるよう、退院調整看護師と、医療ソーシャルワーカーが協働し、入院直後から必要な情報収集を行い、退院後の生活に支障をきたす要因を早期に発見し、患者さんにご家族と情報共有をしながら退院準備を進めています。



●医療ソーシャルワーカー（メディカルソーシャルワーカー：MSW）とは

MSWは、1895年にイギリスで生まれ、1905年にはアメリカの総合病院に、日本では1929年聖路加国際病院に配置されました。その後、高度経済成長期を経て徐々に各医療機関に配置され、現在では多くの病院に配置されている非常に長い歴史をもつ職種です。

病気や怪我をする、そしてそれが入院を伴うほど重度な場合、病気や怪我の治療だけでなく、それに伴う様々な心配事（例えば、医療費のこと、仕事のこと、家族のこと）が生じます。また、医療の機能分担や、地域医療連携の観点から、当院を含む高度急性期病院には長期にわたり療養が必要な患者さんが入院して頂く機能はないため、患者さんやご家族だけでは「今後どのようにすれば良いかわからない」こともあります。

MSWは、そのような患者さんやご家族の不安をできるだけ軽減し、安心して治療に専念できるよう、医師や看護師等の他の専門職と話し合いを持ちながら、解決へと支援しています。

具体的には、患者さんやご家族の、療養生活を続ける上での要望や経済的なお悩みの相談、高齢者やご家族の介護の相談、虐待された乳幼児に対する介入など。そして退院に際し転院先の医療機関や施設の紹介・手配や、福祉サービスの申請と手続きなど、療養生活の不安が少しでも解消できるように、患者さんに合った療養環境が得られる支援をしています。

【例えば このような時にご相談ください】

退院後の療養のご相談や転院について

医療費のご相談や各種公費制度・社会保障制度の紹介等

介護、障害に関する相談（介護保険制度・障害者福祉制度）

誰に相談して良いのかわからないことなど

病診連携施設紹介

なかつじ医院

診療内容：内科・消化器内科

院長 中達 貢

2010年から原宿5丁目で内科一般を診療しております。

診療目標は地域から進行がんを出さない事を目標に出来るだけ早期がんで発見できる様心がけています。

具体的には、かかりつけ医として1年に1回の胃カメラや胸部レントゲンを実施し、必要に応じて腹部エコーを行っております。また当医院では実施していない大腸カメラも3年に1回程度患者様にすすめております。

昨年10月から発熱・風邪外来を行っており、昼休み12:30から15:00までの間一人30分の間隔で診療を行い、必要に応じてCOVID19のPCR検査や抗原検査を行っております。

現在の所、陽性率は13%位で住宅街の一診療所としましてもCOVID19は身近な疾患と感じています。院内感染を未然に防ぐため30分に1人で予約制になり裏口から入っていただくなど患者様には御不自由をおかけしますが、何とか早期発見につながります様努力しております。

また横浜医療センターの先生方には毎日の様に患者様を紹介し、いつもご多忙の所快く御高診いただき頭が下がる思いです。今後も病診連携を通じ、地域の患者様の健康を守って行こうと思っておりますのでよろしく願いいたします。



中達院長



なかつじ医院

〒245-0063 神奈川県横浜市戸塚区原宿5-33-6

ドエル原宿II 1F

TEL : 045-392-6768

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
15:00～18:00	◎	◎	◎	—	◎	—	—

【休診日】日・祝日、G.W.、夏季休暇、年末・年始

診療科		月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	鎗木 陽一	福山 綾子	只木 弘美	鎗木 陽一	塩谷 裕美
		原 良紀	鉾崎 竜範	伊波 勇輝	小林 孝輔	高橋 篤史
		加藤 愛美	野原 千広	平井 夏世		白井 綾乃
	心臓血管外科	村上 弘典	休診日(手術日)	盆子原 幸宏	休診日(手術日)	久米 悠太
	形成外科	和唐 純平	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
	整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経
		堀 莉彩	佐藤 雅経	小澤 祐樹	堀 莉彩	吉田 智隆
		吉田 智隆	小澤 祐樹	齋藤 魁	倉兼 猛	倉兼 猛
		齋藤 魁	日野 勝利			
	外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
糖尿病内分泌内科		田島 一樹	田島 一樹	田島 一樹	末園 太一	田島 一樹
		末園 太一		高橋 麻侑子	宇治原 誠	
脳神経内科		小島 麻里	柳泉 菜由莉	高橋 竜哉	鈴木 聡	休診日
腎臓内科		松下 啓	毛利 史将	松下 啓	牧内 睦美	休診日
呼吸器内科		須藤 成人	金子 舞	間邊 早紀	休診日	梶田 至仁
消化器内科		鈴木 雅人 (第1・3・5曜日)	山口 裕佳 (第1・3・5曜日)	小川 祐二 (第1・3・5曜日)	細矢 さやか (第1・3・5曜日)	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	松島 昭三 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)	上地 大樹 (第2・4曜日)	葛生 健人 (第2・4曜日)
循環器内科		森 文章	森 文章	塚本 圭 (第1・3・5曜日) 前田 遼造 (第2・4曜日)	齋藤 貴士	森 文章
膠原病・リウマチ内科		井畑 淳	関口 章子	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
外科・消化器外科		清水 哲也	関戸 仁	木村 準	関戸 仁	休診日 (手術日)
			太田 郁子 (乳腺外科)	交替医師		
呼吸器外科		休診日 (手術日)	増田 晴彦	休診日 (手術日)	渡部 克也	渡部 克也 (第1・3・5曜日) 増田 晴彦 (第2・4曜日)
脳神経外科		休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	宮原 宏輔 (第1・3・5曜日)
			宮原 宏輔 (第2・4曜日)	野田 尚志 (第2曜日)		谷野 慎 (第2・4曜日)
			関口 徳朗 (第4曜日)		藤津 和彦	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	西本 寛志	佐々木 祐幸	西本 寛志	交代医師
	眼科	木村 正彦	永田 有司	岡部 智子	木村 正彦	鈴木 亮太
		藤田 智子	岡部 智子	鈴木 亮太	永田 有司	藤田 智子
	泌尿器科	今野 真思	平井 耕太郎	休診日 (手術日)	平井 耕太郎	今野 真思
		石川 達郎	宮井 敏孝		宮井 敏孝	石川 達郎
皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士	
	飼沼 実優	飼沼 実優		飼沼 実優	飼沼 実優	
外来受付 D	精神科	休診日	休診日	交代医師	交代医師(4/15～)	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	内山 亜弥	乗杉 輝彦	小林 奈津子
		萩原 真由美/魚本 真理	高山 智子	下向 麻由/渡邊 希望	交代医師	楚南 侑子
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
	歯科口腔外科		根岸 明秀		根岸 明秀	
		渡辺 大智		渡辺 大智		
専門外来 (予約制)	脳神経内科	物忘れ外来	頭痛外来 (第2・4曜日)			
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科			アスベスト外来 (第1曜日)		
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来		脳神経血管内治療外来
				野田 尚志(第1・3・5曜日) 関口 徳朗(第2・4曜日)		田中 悠介
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
精神科	物忘れ外来				物忘れ外来	

初診受付：(平日) 8:30～10:30

休診日：土曜日・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けております。来院前に病院にご連絡下さい。(代表)045-851-2621

※ 青色の枠の担当医は、完全予約制、黄色の枠の担当医からの変更箇所となります。

◆編集後記◆

東京や横浜のソメイヨシノの開花日は平年だと3月26日ということで小・中学校では卒業式の頃にあたる。開花後は2週間程度で散ってしまうとされていることから、4月の2週目頃には散り始めてしまうこととなる。したがって多くの学校では花開く頃に別れが訪れ、花散る頃に出会いが訪れる。人生のサイクルからすると真逆な感覚もあるが愛おしさに変わりはない。桜の花びらが日本酒の杯にヒラリと舞い落ちる風情は日本に生きる人に与えられた至高の瞬間であるがそれも叶わないこととなってしまった。ニュースで頻繁に放送されてきた桜の木の下でのドンチャン騒ぎがなんとなく懐かしい…。(Y・K)